

# 市政に関する一般質問

## 6月会議は18名の議員が質問

### 新型コロナウイルスワクチン接種について

芝田 裕美 議員

現在のワクチン接種者数及び予約者数を伺います。

6月16日現在の累積接種者数は1回目が1万1千94人、2回目は2千212人であり、4月1日現在の住民基本台帳における65歳以上人口、3万1千400人に対する、1回目の接種率は35.3%となります。

6月11日時点での予約者数は、通常予約で1万3千592人、市内かかりつけ医で4

千575人、計1万8千167人となり、65歳以上人口のうち57.9%の方が1回目の接種予約を行うことができたと考えています。

予約が困難な方に対し、予約の代行などを考えるべきかと思いましたが、いかがですか。

予約が難しい高齢者への支援が課題であるため、インターネットの代行を含め、近

ために接種券を一齐に発送したことから、予約が困難な状況が続きました。このことから、65歳未満の方については予約にかかる負担を軽減するため、10歳ごとの年齢区分に応じて、2週間程度の期間を置いて接種券等の発送を予

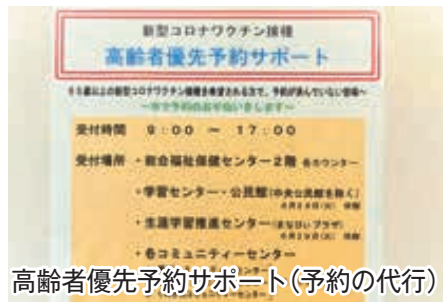
定の接種券を送付する予定です。60歳から64歳までの方と、申出のあった60歳未満で基礎疾患をお持ちの方は6月末日、50歳から59歳の方は7月12日頃に発送を予定しています。

なお、60歳未満で身体障害者手帳や療育手帳をお持ちの方には、申出なく接種券を発送するなどのきめ細かな配慮を行ってまいります。

本市における有機・無農薬・減農薬農業の現状について伺います。

現在、市内で数件の農業者が有機・無農薬・減農薬農業に取り組んでいますが、大きく普及はしていません。その要因として、1点目に、農作業に時間を要することや一定規模の農地が必要であること、2点目に、収量や品質が不安定であること、3点目に、病害虫の発生による梨などへ

日中には広報かまがややホームページにより、市民の皆様にお知らせできると考えています。



高齢者優先予約サポート(予約の代行)

定しています。具体的には、60歳から64歳までの方と、申出のあった60歳未満で基礎疾患をお持ちの方は6月末日、50歳から59歳の方は7月12日頃に発送を予定しています。

なお、60歳未満で身体障害者手帳や療育手帳をお持ちの方には、申出なく接種券を発送するなどのきめ細かな配慮を行ってまいります。

の食材を短時間で調理できるような規格に合わせていただく必要があります。

大量の食材を安定的に必要とする学校給食で有機野菜が利用されれば、有機農業者が増え、地域経済の活性化につながると思いますが、本市の見解を伺います。

使用品目・規格・数量・価格が合えば有機野菜を利用することは可能ですが、大量

の需要が懸念されること、4点目に、慣行農業者との相互理解の醸成が必要であることなどが考えられます。

大量の食材を安定的に必要とする学校給食で有機野菜が利用されれば、有機農業者が増え、地域経済の活性化につながると思いますが、本市の見解を伺います。

### 当市の「新型コロナウイルスワクチン接種」をめぐる問題点と今後の進め方

津久井 清氏 議員

ワクチン接種に関する市民からの問い合わせ件数とその内容を伺います。

6月15日までに約1万3千件のご意見が寄せられており、その内容は、「予約の電話が繋がらない」「65歳以上の対象者に一齐に接種券を発送したために予約が集中したのではないか」などがありました。

ワクチン予約の方法として当初から75歳以上を優先し、年齢を順次引き下げる方式とするべきだったではありませんか。

年齢階層別に接種券を送付することも検討しましたが、基礎疾患を持っている方を考慮し、65歳以上の方に一齐に送付し、予約を開始しました。

市長が6月10日に突然辞職しましたが、市長職務代理者としてワクチン接種をめぐる混乱をどのように認識していますか。

予約を取る際の不便さ等市民の皆様から多くのご意見をいただいております。大変申し訳なく思っています。今までの反省点を踏まえ、市民のためになると判断ができる場合は、ためらうことなく見直しを進めてまいります。

### コロナ禍により顕在化した女性の負担軽減について

富田 信恵 議員

コロナ禍により経済的な影響を受けている女性に対し、生理用品を無償で提供する「かまがやほっとサポート」事業の概要を伺います。

本事業は市の防災備蓄品を有効活用して必要な方に生理用品を配布するとともに、市の相談窓口一覧と一緒に配布することで困窮する方を適切な支援につなげる事業となっております。

配布場所は市役所総合案内を含む4か所で、備付けの専用カードの提示により個人情報を伝えることなく生理用品を受け取ることができます。

本市では孤立する女性や支援を必要とする女性に対し、地域女性活躍推進交付金を活用して活動を行っている団体

は、行政と多様な主体がお互いの特性を生かし協働することで、より良い成果を得られると考えているため、他市の市民公益活動団体等による支援について情報収集を行い、必要な支援の在り方について調査研究してまいります。

### 市内北部地域の道路行政について

中村 潤一 議員

船橋我孫子バイパス線の整備状況を伺います。

東道野辺七丁目付近から国道404号までの約4kmが供用されており、残りの鎌ヶ谷消防署付近から栗野十字路手前までの延長約280mについては、県が事業着手し、現在用地取得を進めており、令和2年度末の用地取得予定と見られます。

第五中学校の指定通学路である五本松交差点から白戸胃腸科外科付近までの約300mについて、北側に歩道を整備するため今年度より用地取得を開始する予定です。

### 消火システムによる事故防止について

佐竹 知之 議員

本年4月に東京都新宿区で発生した消火設備の作動による死亡事故の原因について、市の見解を伺います。

地下駐車場の天井張り替え工事に際して、何らかの要因で二酸化炭素が放出し、緊急時の対応等、安全管理の不徹底があることが大きな事故につながった要因と考えます。

本市には、二酸化炭素ガスを放出する消火設備のある建築物はどのくらいありますか。

立体式駐車場に2か所、事業所等に2か所、計4か所の建物に設置されています。

今年度の運行計画の見直しが必要と考えますが、市の見解を伺います。

運行計画策定時に想定していた。運行計画の見直しも含め、課題の整理とスケジュールなどについて検討を進めています。

### 新型コロナウイルスワクチン接種について

徳野 涼 議員

ワクチン接種について、非常に多くの市民が関心や不満を持っていますが、接種状況について伺います。

6月20日現在で、65歳以上の1回目の接種率は41%超で、接種は順調に進んでいます。個別の医療機関で予約ができる対象者の基準を伺います。

第三中学校の通学路でもある当該区間の歩道整備は、県が地元の皆様へ計画の説明を行い、ご協力をお願いしていくと伺っており、市も引き続き県と連携して早期整備に取り組みたいと考えています。

二酸化炭素消火設備に関する全ての人に、設備の構造や安全対策の周知を徹底すべきだと思いますが見解を伺います。

今回の事故を重く受け止め、同種の消火設備が設置されている建物関係者に対して、これまでに、指導、注意喚起を行いました。また、今後設備の付近で工事等が行われる場合は、工事関係者に対して、その都度注意喚起等を行うよう、建物関係者に要請してまいります。

いなかた新型コロナウイルス感染症による大幅な利用者の減少やバス事業者の赤字などを踏まえ、新たな運行計画は、当該感染者が収束し、利用者数やバス事業者の経営状況の推移を見計らう中で進める必要があると考えています。このことから、新たな運行計画の見直しも含め、課題の整理とスケジュールなどについて検討を進めています。

かかりつけ医による接種が安心につながることを考えたことや、個別医療機関における予約枠数の日々の変動が大きいため、接種日時を事前に指定する方法は難しいと考えております。予約に関してはお客さまの方策がありますが、それぞれにメリット、デメリットがあり、それが正解とは言い切れない状況です。

重産化しやすいと言われる基礎疾患をお持ちの方を対象に、かかりつけ医で直接予約を取るものです。

基礎疾患を抱えている方が予約できたのか疑問に感じますが、接種日時を指定する方法は検討しましたか。

体調等をよく把握している

